

段々（みかん）畑と雲海

—先人たちの技術と労力により造成された段々（みかん）畑—

—熊本県熊本市—

(株)三祐コンサルタンツ 渡邊圭四郎

1. はじめに

河内町は、熊本市の西北に位置し、主峰となる金峰山と相対して、北に二つの岳があり、これより西南に広がる裾野を切り開き、みかん園の大集団を形成している。

この地において、古くは小みかんを中心として植えられ、現在の温州みかん栽培が伝わったのは、天明2(1782)年である。河内の領主牛島七郎佐衛門橋公基が小みかんより優良なものとして栽培が奨励されたのが始まりであり、昭和9年に県立果樹実験場が河内に設置され、高度な栽培技術の普及によって飛躍的な生産の向上と温州みかんの増殖が期せられた¹⁾。

表-1 平成28年 都道府県別みかんの収穫量³⁾

順位	都道府県	収穫量	割合
1	和歌山県	160,100 t	20.0%
2	愛媛県	127,800 t	15.9%
3	静岡県	121,300 t	15.1%
4	熊本県	84,000 t	10.4%
5	長崎県	50,200 t	6.2%
6	佐賀県	48,800 t	6.1%
7	愛知県	30,500 t	3.8%
8	広島県	24,100 t	3.0%
9	福岡県	20,300 t	2.5%
10	神奈川県	20,000 t	2.5%
合計	全国	805,100 t	

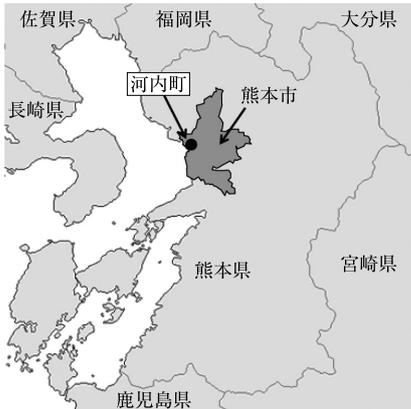


図-1 河内町の位置図



写真-1 段々畑におけるみかんの栽培状況-1

2. 熊本県におけるみかんの生産量

熊本県では6月～9月下旬にかけてハウスみかん、それ以降は年間を通して多種多様の露地みかんが10月～1月まで次々に出荷されている。なかでも露地みかんのトップをきって10月上旬から新早生の温州みかん「豊福早生」、中旬から「肥のあけほの」が販売される。この両品種は熊本県が昭和59年から独自に研究、開発を行い、平成10年から本格的に販売をはじめたものである。「豊福早生」はとても甘く、食味が優れており、「肥のあけほの」は抜群の甘さのほか、外観、果実ともに濃い赤み特徴である²⁾。

なお、熊本県は収穫量、栽培面積ともに全国第4位の「みかん王国」となっている(表-1)。

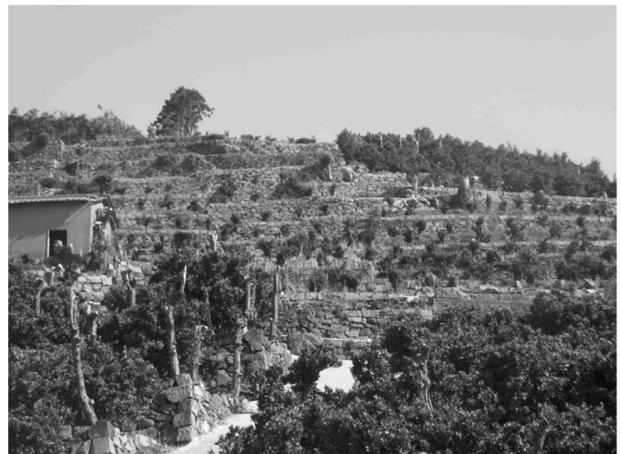


写真-2 段々畑におけるみかんの栽培状況-2

3. 段々畑（河内町）におけるみかんの生産

熊本市の西北、有明海に面した金峰山麓には、広大なみかん園が広がっており、河内町の温暖な気候は、みかんの栽培に最適であると言われている。

「河内みかん」は、全国屈指の出荷量を誇り、おいしさも一級品である。これは、「①太陽からの直射光、②有明海からの反射光、そして③段々畑を支える石段からの反射光によって、豊富な日射量が得られる」からと言われている。

段々畑は水はけもよく、糖度を高めるのに効果的である。また、水分の吸収を抑えるシートを張るなど、さまざまな工夫が行われている⁴⁾。

さらに、平成8年にJA熊本河内支店に全国で初めて採用された「光センサー選別システム」はみかんを傷つけることなく、商品性を失わずに個別の糖度や酸のデータを正確に得られることができる画期的なシステムである²⁾。

伝統的な石垣による段々畑でのみかん栽培にあわせて、最新の選別システムの導入などの工夫により、「河内みかん」は、高い糖度とほどよい酸味で、全国でも人気を集めている。



果実の肥大が盛んな夏場頃から収穫時まで、広いテラスの園地に多孔質のマルチを被覆している。この多孔質マルチは雨水をシャットアウトし、地面への余分な水分浸透を防ぐ一方、地面から発生するガスや水蒸気は空気中を通すようになっている²⁾。高糖度のみかんを生産するため、農家の人たちはさまざまな工夫と努力を行っている。

写真-3 マルチ栽培の状況

4. おわりに

天皇、皇后両陛下が皇太子、同妃殿下時代の昭和37年5月、九州を巡啓された際、川内町にある熊本県果樹試験場にご来臨なされ、その途中、この地に立たれ風光明媚な景観に深く感銘されたとされている。

また、夏目漱石も熊本に居るあいだ3回、この地を訪れており、漱石が「桃源郷」と呼んだ地「小天」⁵⁾のみかん畑から望む有明海、遠く雲仙普賢岳、天草の景色は素晴らしく、一見の価値がある。



「降りやんで 蜜柑まだらに 雪の舟」漱石

写真-4 巡啓記念碑と漱石句碑

引用文献

- 1) JA 熊本市柑橘部会：河内みかんの歴史, <http://www.yumemirai-net.jp/index.php?id=3> (参照2017年11月22日)
- 2) 熊本県：熊本県地産地消サイト, http://cyber.pref.kumamoto.jp/Chisan/imgkiji/pub/detail.aspx?c_id=10&id=516&pg=1 (参照2017年11月22日)
- 3) 地域の入力物：みかんの生産量の都道府県ランキング (平成28年), <https://region-case.com/rank-h28-product-orange/> (参照2018年9月28日)
- 4) 熊本市：魅力発掘！発見！発信！マガジン 城下町くまもと (2017年10月号), pp.25~26, http://www.city.kumamoto.jp/html/kumamotoshi_jyokamachi/pdf/25_28-1.pdf (参照2017年11月22日)
- 5) 玉名市：草枕の里てんすい, <http://www.city.tamana.lg.jp/q/aview/398/2071.html> (参照2017年11月22日)